

# つなげよう つながろう ふたばのわ

コミュニティ情報紙「ふたばのわ」は、町民皆さんとそれを支える全ての人を巻き込みそれぞれの思いやあらゆる情報に共有・共感できる紙面をめざしています。月に一度、ふたばのわのページをめくってみんなで一緒に笑顔になりませんか。



## ▶ 祈り 願う 3.11～あの日から9年～(P2～3)

- ▶ 思いを繋ぐ日まで～2020東京五輪聖火リレー再スタートへ～(P4)
- ▶ JR常磐線全線開通双葉駅営業再開記念動画「震災から9年 新たな出発」
- ▶ 双葉町出身声優・女優 桜庭梨那さんインタビュー(P5)
- ▶ スマイルフォト・情報掲示板(P6) ▶ お知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・ブログふたばのわ(P8) 表紙はJR常磐線双葉駅の特急列車出迎式

■発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集：双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ  
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

町公式ブログ  
<https://futabanowa.wordpress.com>



# 祈り願う3.11

あの日から9年

東日本大震災と東京電力福島第二原子力発電所の事故から今年で9年が経過しました。9年という月日はあまりにも長く、町内の復興が進む一方で複雑な思いを抱えている方も少なくありません。

## 東日本大震災 双葉町追悼式

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントや行事などが軒並み中止となる異例の状況下ではありましたが、3月11日(水)いわき市内にて「東日本大震災双葉町追悼式」が規模を縮小して行われました。

追悼式には県内外からご遺族の方々が参列しました。

開式に先立ち、震災が起きた午後2時46分に犠牲者のご冥福を祈り静かに黙祷が捧げられました。

その後の式では伊澤史朗町長が式辞を述べた後、佐々木清一町議会議長や柳澤禎双葉警察署浪江六分庁舎所長、大和田仁双葉地方広域市町村圏組合消防本部消防長が哀悼の辞を述べられました。ご遺族の方々は亡くなられた方を偲び、祭壇に白い菊の花を献花し、犠牲者を用いました。

## 伊澤史朗町長式辞

本日ここに東日本大震災双葉町追悼式を挙行するにあたり尊い命が失われた方々の御霊に対し双葉町を代表して謹んで哀悼の誠を捧げます。  
東日本大震災が発生した平成23年3月11日から9年の歳月が流れました。

未曾有の大災害から9年の年月を経てもなお、ご遺族の皆さまにおかれましては未だ大切な家族を突然失った悲しみはあまりにも深く心の傷は癒えていないものとお察しいたします。  
その中にあつても前を向いて進もうというお気持ちを少しでも強く持つことができるよう、その悲しみに寄り添いながら町の復興そして町民一人一人の心の復興の道を共に歩んでまいります。

## あれから9年それぞれの思い



舘林 孝男さん  
(細谷)

東日本大震災発生当初は時間の流れが長く感じましたが、白河市に来て自治会の方々と過ごすようになってからはあつという間に感じます。

2020年が始まって常磐双葉ICの供用開始やJR常磐線の全線再開通など明るいニュースが続きましたが、まだまだ復興が進んだという実感は持てません。それでも希望を持ち続けていきたいと思っております。



倉田 均さん  
(長塚一)

双葉町の家は解体してしまいはありませんが、家があった頃は年に3〜4回帰っていました。

避難先の白河市から栃木県の那須までは車で30分程度。スキーや温泉に出かけたりして毎日を過ごしています。

双葉町には義父母のお墓があるのでお墓参りに行った時に新しくなった双葉駅に立ち寄ってみようと思っております。



## 双葉町県南双樹会 慰霊祭

白河市の双葉町県南双樹会では、感染症対策を行いながら例年通り慰霊祭が行われ、18人が参列しました。

初めに、震災発生時刻の午後2時46分に合わせ、皆さんで黙祷を行いました。

その後はテレビを囲み、参加者同士で故郷双葉町のことについて話し合いました。

3月11日ということもあり報道では被災3県を取り扱う番組が多く、その中で双葉町内や双葉町民の方が映ると「〇〇が映った」「〇〇さんだ」などと話していました。

また、双葉町の一部区域の避難指示解除や常磐双葉ICの開通、JR常磐線の全線再開通にもなった新双葉駅舎の供用開始なども話題に上がり、復興が進む町の様子に喜びを感じている方もいらしていました。

館林孝男会長から「一部区域の避難指示解除に伴い双葉駅周辺には自由に行くことができるようになりましたが、町の大部分は避難指示解除に至らず、復興には遠い気がします。今後、町がどう変わっていくのかわからないところもあります。希望を持ち続けて生活していきたいと思います」とお話があり、9回目の慰霊祭を閉じました。

9回目の3月11日は町民の皆さんが様々な思いを馳せる特別な日になりました。



谷 尚之さん  
(三字)

あの日から9年。長いようで短く感じています。

3月11日の双葉町に関する報道は録画をして一通り見ました。復興が進むことは喜ばしいことです。が、気持ちを追いつかないというのが正直な感想です。

慣れない地での避難生活もなんとか落ち着いてきているので、双葉町に帰還するよりは今の生活のままで良いかなと思っています。



藤田 博司さん  
(下条)

9年過ぎて一部区域が避難指示解除になりましたが、町内はまだまだ帰れるような状態ではありません。帰れるのなら一刻も早く帰りたいという気持ちはずっと変わりません。

埼玉県加須市に来て9年が経ちますが未だに加須市長や加須市民の皆さんが良くしてくれることに日頃から感謝の気持ちでいっぱい。今は故郷を思い出しながら日々を過ごしています。



千吉良 高志さん  
(三字)

双葉町は住みやすく、人にも恵まれていたので愛着がありました。

今は故郷から遠く離れた群馬県で避難生活を送っており、町への思いも以前に比べると薄れつつありますが、報道を通して故郷を気にかけています。みんなが安心して帰還できる町になるよう、今は福祉施設や病院などを優先的に整備するのが良いと思います。笑って過ごせる日々が増えたときこそが本場の意味での復興になるのではないのでしょうか。



小川 貴永さん  
(長塚二)

震災から9年、JR常磐線の全線開通や双葉ICなど町の復興は進んでいますが、気持ちの面での復興がなかなか進んでいないと感じます。生まれ故郷の双葉町に帰りたい気持ちはありますが家族のことを思うと複雑です。中でも地元の大塚地区にある初發神社は今年社殿を再建することができました。長年町民に親しまれたこの神社、今後どのように伝統文化として残していくかが課題です。

# 思いを繋ぐ日まで ～2020東京五輪聖火リレー再スタートへ～

オリンピック聖火リレーを2日後に控えた3月24日、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、東京オリンピックの延期を検討するとの発表がなされました。聖火リレーはギリギリまで実施に向けての調整が行われていましたが、その後の関係団体の協議を経て正式に延期が決まり、オリンピックも2021年7月23日開催に変更されました。

双葉町では3月14日に営業が再開されたJR双葉駅前で聖火リレーが実施され、双葉町の代表ラン

ナー3人とサポートランナー9人がその大役を担うことになっていました。

代表ランナーの皆さんはそれぞれの思いを胸に聖火リレーに臨まれる予定でした。残念ながら私たちがその勇姿を目にする日は先送りになってしまいましたが、心からオリンピックの実施を歓迎し、皆さんで楽しみを共有できる日が来ることを祈念し、今回は代表ランナーの皆さんに、双葉町への思いやいつかその日に向けての展望を伺いました。



板倉 香奈さん  
(長塚一)

私は双葉町で生まれ育ちました。東日本大震災の原子力発電所の事故により、家族や親戚、友人と離ればなれになってしまいました。9年たった今でも双葉町のことを思い出すと、何とも言えない悲しさでいっぱいになります。今回聖火ランナーとして双葉町を走ることで、全国にいる町民の皆さんに双葉町での楽しかった日々を思い出してもらいたい。懐かしんで笑顔になってもらいたい。

そんな思いで走ろうと思っていました。

また現在は小学校の教師として働いているので、子どもたちにオリンピックのこと、震災、双葉町のことを伝えられたら…と考えていました。

残念ながら聖火リレーは中止になりましたが、またいつか双葉町に聖火が来る日を心から願っています。その時には、心を込めて走りたいと思います。



井戸川 俊さん  
(新山)

今回、聖火リレーが中止になってしまったのは残念です。家族や友人も私が走るのを楽しみにしてくれていたの、やはり走りたかったという思いです。ただ、コロナウイルスの影響が原因なので、まずは安全になってからだと考えています。

延期になるという話なので、楽しみに待つ時間が長くなったと前向きに考えています。1年後は双葉町の状況もまた変わっていると思うので、そのような姿を発信したいと思っています。



桜庭 梨那さん  
(三字)

双葉町にとっては、避難指示が一部解除された節目の年でもあり聖火リレーの開催ができないということはとても残念です。これから復興に向かうのだと世界にも伝えられる機会でしたので、今年開催することにとっても大きな意味があると思っていました。

完全になくなるわけではなく延期ということでもまた機会があるので、楽しみが延びただけと前向きに考えています。当面の間、聖火が保管されるということも滅多にないことなので、福島に遊びに来てもらうきっかけになればと思います。

東日本大震災の発生から9年もの間その役割を休止していたJR双葉駅。令和2年3月14日、多くの方のご支持のもと営業再開を遂げました。真新しいホームに特急ひたちを迎え入れた直後、多くの報道陣に囲まれた伊澤史朗双葉町長は「9年間待ちに待った今日。感慨無量の思いです」と心境を述べました。ユーチューブ双葉町公式チャンネルでは、JR東日本様の全面協力のもとJR常磐線全線開通とJR双葉駅の営業再開までを綴った動画「震災から9年 新たな出発」(約8分)を配信いたしました。動画では駅再開に対する町民の皆さんの思いや、帰還困難区域内での大規模工事というかつてない課題に立ち向かった工事関係者やJR職員の思いを紹介しています。ぜひご覧ください。



JR常磐線全線開通  
双葉駅営業再開記念動画

「震災から9年  
新たな出発」



# INTERVIEW

## 桜庭梨那

RINA SAKURABA

(双葉町出身 声優・女優)



「ここ数年、文化・スポーツなど様々な分野で双葉町出身の若者が活躍中。震災から9年以上が経過し、若者同士が意見を共有する場やその活動を直接応援する機会は減ってしまいましたが、若い世代の声は復興が進む双葉町にとって欠かせないものです。今回は、2020東京五輪聖火ランナーにも選出された、声優・女優の桜庭梨那さんにお話を伺いました。」

### 双葉町の思い出

標葉せんだん太鼓保存会に所属していたので、毎年元日の朝は日の出とともに海をバックに太鼓の演奏をしていました。寒いし朝早いし、今思えば何年間もよくやっていたなあと思います。嫌だと考えたことはなく当たり前になっていました。農家だった祖父母宅にもよく遊びに行っていました。手伝いをしながら、採れたてのトマトを服で拭いてその場でかぶりついたり、イチゴをお腹いっぱいつまみ食いしたり……子どもの頃はかなり活発に自然の中で遊んでいました。

### 震災当時やその後の避難生活

川俣町の避難所で、友人たちと一緒におにぎりを作る手伝いをしたのを覚えています。騒ぎながら冷たい水道水で頭を洗ったりもしました。友達がいなかったら避難所生活は乗り切れなかった……。

その後群馬に避難しましたが、入居した団地の下の階に住んでいたご家族が本当に素敵な方たちで「寒いでしょう」と部屋に招き入れて暖をとらせてくださったことが忘れられません。生活に必要な物をすべて貸してくださって。「こんな人たちがいるのか」と驚き、感動しました。転入先の学校で出会った友達も温かかった。事情を話したら「大変だったね」と泣いてしまいう子もいました。群馬には3カ月しか居なかったけど、最後の登校日にサプライズでお別れ会をしてくれました。その時にもらった、手作りのアルバムは宝物です。

### 故郷双葉町への思い

帰ると決めている人、帰らないと決めている人、それぞれいらつしゃると思います。その方たちを区別することなく、誰もが自由に帰れる場所であってほしいです。同時に、原発事故を伝えていく説得力を有している町だと思おうので、そういった役割を全うしていただければと思います。

### 声優という仕事について

小さいころからアニメが好きでよく見ていましたが、声優という職業を意識するようになったのは高校の時です。イベント、ラジオ、映画やゲームなどに触れているうちに、私も見る側ではなく作る側、ステージ側に行きたいと思うようになってきました。楽しそうで羨ましかったからです。そしてある作品と出会い『やりたいことをやろう』と背中を押され、夢が目標に変わりました。

### 今後の活動への抱負

私は震災後「できる限り後悔の無いようになりたい」と思うようになりました。自分自身が楽しんでみながら、様々なことに挑戦していきたいです。また故郷を離れてみて、実は福島のことでも双葉のことも、自分は良く知らなかったんだなあと思感しました。今後は自分のルーツを探求しながら、福島魅力を発信する仕事に携わりたいです。

### 双葉町の皆さんへ メッセージをお願いします！

私はこれまでなんとなく震災や故郷と正面から向き合うことを避けてきました。『復興も何も……』という思いが心の中にあつたからだと思います。今は『これまでとこれからをきちんと知ろう、光も影も正確に伝えていこう』と思えるようになってきました。今後は真の福島を発信していこうと思いますので、皆さんにも応援していただけたら嬉しいです。一部の地域で避難指示が先行解除された双葉町にもぜひ遊びに行っていたきたいです。そして町で会えた時には、地元トークでもしましょう！

### 桜庭梨那プロフィール

福島県双葉町出身。  
東日本大震災後、福島第一原子力発電所の事故の影響により町外に避難、高校卒業後は県内で一旦就職をするものの、以前からの声優になりたいという夢を実現するために20歳で上京、声優養成所に入所した。

2017年に声優としてデビューし、映画などに出演する傍ら、様々な舞台へ出演するなど女優としても活躍している。



©toboji

# ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



2月18日(火)  
フラ交流会(いわき市勿来酒井団地)



3月13日(金)  
町立双葉中学校卒業証書授与式



## 情報掲示板

### 自治会等イベント

県北ふたば会(福島市)

4/24(金) ▶ 総会

県南双樹会(白河市)

4/27(月) ▶ 総会 → コロナウイルスの影響により中止

新型コロナウイルスの影響によりイベント開催の自粛や中止を検討しているものもありますので参加を希望される方は事前に主催者にご確認ください。

### その他

## 桜の写真大募集!

#### 募集内容

双葉町や今お住いの地域で撮影した桜の写真

●撮影した場所と撮影日をお知らせ下さい(過去に撮影したものでも構いません)

#### 募集期間

令和2年 4月20日(月)必着(期間延長いたしました)

#### 応募方法

#### ①郵送の場合▼

〒974-8212 福島県いわき市東田町2-17-4  
ヤマギワビル2F-A 一般社団法人ONE福島内「桜の写真大募集」係

#### ②電子メールでの送付▼

mikiko@onefukushima.jp

※メールの件名を「ふたばのわ 桜の写真大募集提供データ」として下さい。  
※メールでご入稿の場合、入稿確認メールを返信致します。  
一週間経っても返信が無い場合は、お手数ですが下記までご一報下さい。  
※現在タブレットでも募集しております。

#### その他

●お一人様2点までとさせていただきます。

#### お問い合わせ

双葉町復興支援員(ふたさぼ)西元 ☎080-2847-0073

# お知らせ

土地のこと・お金のこと・仕事のこと・手続きのこと  
ささいなことでもご相談ください。  
予約不要です。お気軽にお立ち寄りください。

## 双葉郡・いわきの法律の専門家による お困りごと無料法律相談会



### 日時

2020年 毎月第2土曜開催 午前10時から午後1時  
※都合により開催日時が変更になる場合がございます

### 場所

富岡町ショッピングセンター「さくらモールとみおか」内  
ツルハドラッグ前 特設ブースにて  
〔双葉郡富岡町小浜字中央416〕

### 主催団体

ふたばいわき法律家ネットワーク  
代表:司法書士 渡辺 和則

■弁護士・司法書士・土地家屋調査士・社会保険労務士・行政書士法律専門家集団が無料でご相談に応じます。

■避難先で生活されている方もお困りのことがありましたらどんなことでもお話を伺います。

問い合わせ先 わたなべ法務事務所 ☎0246-88-1818

【協力】  
富岡町、一般社団法人とみおかプラス

## 被災者の皆さまへ(福島県弁護士会の被災者支援活動)

### 災害無料電話法律相談



☎024-534-1211・024-925-6511・0246-25-0455

※相談料はかかりませんが、通話料はご負担ください

※多数の電話が寄せられた場合には、つながりにくい場合がありますので、予めご容赦ください。

### 自然災害による被災者の債務整理に関するガイドラインについて

2016年(平成28年)4月1日より、「自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン」(被災ローン減免制度。以下「自然災害債務整理ガイドライン」といいます。)の運用が開始されています。

これは、自然災害で被災した影響により、住宅ローンなどの債務の支払いが困難となった方について、一定の要件をもとに、住宅ローン等の債務の減額や免除が認められる制度です。この制度による債務整理は、破産などの法的な手続により債務整理を行う場合と比較して、①手元に残せる現金等の範囲が広い②債務整理をしたことが信用情報として登録されない③弁護士等の専門家の支援を無料で受け

ることができるなど、メリットがあります。制度の詳細は、運営機関のホームページ(<http://www.dgl.or.jp>)をご参照ください。

この制度をご利用いただくためには、まず、借入残高が最も多い金融機関にご相談いただき、債務整理手続きの着手についての同意書をもってください。その上で、福島県弁護士会に対し、登録支援専門家弁護士の委嘱を申請してください。

福島県弁護士会の登録支援専門家委嘱の受付窓口は、福島県弁護士会事務局(〒960-8115 福島県福島市山下町4-24 ☎024-534-2334)です。



# 放射線モニタリング情報

## 福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

令和2年3月27日

- ①郡山市 日和田応急仮設住宅 …… 0.09~0.16
- ②福島市 県北保健福祉事務所 …… 0.13
- ③郡山市 県郡山合同庁舎 …… 0.08
- ④白河市 県白河合同庁舎 …… 0.06
- ⑤会津若松市 県会津若松合同庁舎 0.05
- ⑥南会津町 県南会津合同庁舎 …… 0.04
- ⑦南相馬市 県南相馬合同庁舎 …… 0.07
- ⑧いわき市 県いわき合同庁舎 …… 0.06



## 双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

地区	地点	平成24年 4月1日	令和2年 3月27日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.47
新山	新山公民館	—	0.17
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.19
新山	双葉南小学校	—	0.17
新山	双葉中学校	—	0.17
新山	県立双葉高等学校	—	0.23
新山	中央公園	—	0.23
下条	双葉総合公園	2.60	0.61
下条	双葉町役場	—	0.22
郡山	郡山公民館	1.48	0.34
細谷	細谷公民館	2.31	0.37
三字	三字公民館	2.53	0.20
山田	山田農村広場	24.47	4.05
石熊	石熊公民館	12.10	調整中
長塚	双葉町体育館	6.25	0.53
長塚	長塚二公民館	3.26	調整中

地区	地点	平成24年 4月1日	令和2年 3月27日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.38
長塚	町西住宅	—	0.17
長塚	JAふたば北部営農センター	—	4.67
長塚	双葉北小学校	—	0.62
長塚	ふたば幼稚園	—	1.16
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.29
長塚	双葉町児童館	—	0.21
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.43
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.37
寺松	寺松公民館	3.46	0.95
渋川	渋川公民館	1.48	0.36
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.59
中田	中田公民館	0.77	0.18
両竹	両竹公民館	0.54	0.08
浜野	浜野公民館	0.34	0.05

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

## ふたさぽミニコラム

今年は豪雪地帯ですら雪が積もらない地域があるほどの記録的な暖冬でした。寒さに弱い私にとっては厳しい寒さに震えること無く冬を乗り切ることができ嬉しかったのですが…、寒さに弱い人間と言いつつ「趣味はスノーボード!!」ということで、昨年12月頃の私は「福島に来たからには、いっぱい滑りに行くぞー」と意気込んでいました。ですが暖冬や新型コロナウイルスの影響もあり今年断念。来シーズンはスキー場に行けるといなと思います。

木幡 友紀恵

## 文字と写真でコミュニケーション ブログふたばのわ



町復興支援員は、本紙や動画のほかに「ブログふたばのわ」で情報発信しています。

ブログでは、各地の話題や注目情報について、取材等を担当した支援員が紹介しています。

ブログふたばのわは、町公式ホームページのトップページのアイコンから(図左)、タブレットをお持ちの方は、ふたばアプリ内、インターネット便利帳ボタンから(図右)ご覧いただけます。